

2021年3月8日

ゲームファンが選んだ2020年のベストゲームを表彰
「ファミ通・電撃ゲームアワード2020」受賞作品発表！
“Game of The Year”は「あつまれ どうぶつの森」。

株式会社 KADOKAWA Game Linkage(本社:東京都文京区、代表取締役社長:豊島秀介)は、ゲームファンの投票により2020年のベストゲームを選ぶ「ファミ通・電撃ゲームアワード2020」を開催し、3月7日に配信したゲーム情報番組『WILDish Presents GAME LIVE JAPAN With ファミ通・電撃ゲームアワード』内で発表・授賞式を行いました。



「ファミ通・電撃ゲームアワード2020」は、ゲームメディア“ファミ通”と“ゲームの電撃”がタッグを組み発足した国内最大級のユーザー投票型ゲームアワードです。ユーザーから厚く支持され、かつゲーム業界の発展に多大な貢献をしたと認められる優れたゲームやクリエイターなどを、読者投票によって選びます。

投票総数 17,507 票の中から、もっともゲームファンに支持された作品に贈られる大賞“Game of The Year”に輝いたのは、「あつまれ どうぶつの森」(任天堂)です。無人島に移住し、自分だけの島を作る楽しさ。虫捕りや魚釣り、どうぶつたちとの交流を通して体験するスローライフ。そしてローカル通信やインターネットを通じた他のプレイヤーとの交流。「どうぶつの森」シリーズ最新作となる本作は、それらの要素でまたたく間に人々の心をとらえ、2020年末時点で全世界累計売上 3118 万本という大ヒットを記録しました。

今回もっとも多くの賞を獲得したのは、日本を舞台としたオープンワールド時代劇アクションアドベンチャー「Ghost of Tsushima(ゴースト・オブ・ツシマ)」(ソニー・インタラクティブエンタテインメント)です。“MVC~Most Valuable Creator~”、“グラフィック部門”、“アクター部門”、“キャラクター部門”、“アクションアドベンチャー部門”の5冠を受賞しました※。

中国最大級の SNS・Weibo「ファミ通 × ゲームの電撃」公式アカウントにて中国のゲームユーザーから投票を募った“Best Game in China”には、「あつまれ どうぶつの森」(任天堂)が選ばれました。また、“Best Creator in China”は、小島秀夫氏(コジマプロダクション)が圧倒的な支持を受け、2年連続での受賞となりました。

そのほか各部門の受賞結果は次の通りです。

※“MVC~Most Valuable Creator~”は開発元・Sucker Punch Productions、“アクター部門”はダイスケ・ツジ(境井仁)が受賞

◆◆ Game of The Year ◆◆

あつまれ どうぶつの森／任天堂

◇ MVC～Most Valuable Creator ◇

Sucker Punch Productions

任天堂『あつまれ どうぶつの森』開発チーム

◇ シナリオ部門 ◇

The Last of Us Part II／ソニー・インタラクティブエンタテインメント

◇ グラフィック部門 ◇

Ghost of Tsushima(ゴースト・オブ・ツシマ)／ソニー・インタラクティブエンタテインメント

◇ ミュージック部門 ◇

ファイナルファンタジーVII リメイク／スクウェア・エニックス

◇ アクター部門 ◇

ダイスケ・ツジ(境井仁)／Ghost of Tsushima(ゴースト・オブ・ツシマ)

◇ ボイスアクター部門 ◇

櫻井孝宏(クラウド・ストライフ)／ファイナルファンタジーVII リメイク

◇ キャラクター部門 ◇

境井仁／Ghost of Tsushima(ゴースト・オブ・ツシマ)

◇ オンライン部門 ◇

ファイナルファンタジーXIV／スクウェア・エニックス

◇ アクション部門 ◇

天穂のサクナヒメ／マーベラス

◇ アクションアドベンチャー部門 ◇

Ghost of Tsushima(ゴースト・オブ・ツシマ)／ソニー・インタラクティブエンタテインメント

◇ アドベンチャー部門 ◇

ALTDEUS: Beyond Chronos(アルトデウス: ビヨンドクロノス)／MyDearest

◇ RPG 部門 ◇

ファイナルファンタジーⅦ リメイク／スクウェア・エニックス

◇ インディゲーム部門 ◇

天穂のサクナヒメ／マーベラス

◇ ルーキー部門 ◇

天穂のサクナヒメ／マーベラス

◇ e スポーツゲーム部門 ◇

Apex Legends／エレクトロニック・アーツ

◇ ファミ通・電撃特別賞 ◇

原神／miHoYo

桃太郎電鉄 ～昭和 平成 令和も定番！～／コナミデジタルエンタテインメント

◇ Best Game in China ◇

あつまれ どうぶつの森／任天堂

◇ Best Creator in China ◇

小島秀夫／コジマプロダクション

◇ WILDish インディ賞 ◇

Maneater／Koch Media

※敬称略

「ファミ通・電撃ゲームアワード 2020」開催概要

◇主催・企画・運営：

ファミ通・電撃ゲームアワード 2020 実行委員会

◇目的：

2020 年においてユーザーから厚く支持され、かつゲーム業界の発展に多大な貢献をしたと認められる優れたゲーム・人物・ゲームメーカー等を、ファン投票により選ぶことを目的とする。

◇投票期間：

2020 年 12 月 16 日（水）～2021 年 1 月 17 日（日） ※投票終了

◇投票対象：

家庭用ゲーム機・スマートフォン・PC などハードの種類は問わず、2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日に発売・配信されたゲーム、または 2020 年の時点でサービス中のゲーム。

◇投票・選考方法:

投票期間中、「ファミ通・電撃ゲームアワード 2020」特設サイトで投票を受付。投票結果をもとに、ファミ通・電撃ゲームアワード 2020 実行委員会が選定。なお、“Best Game in China”、“Best Creator in China”については、Weibo 公式アカウント「ファミ通 × ゲームの電撃」(<https://www.weibo.com/famitsudengeki>)にて投票を受付。

◇投票部門:

・Game of The Year

ゲームの世界観や斬新さ、奥の深さ、ユーザーを引きつける魅力など、総合的にもっとも優れている作品に贈る賞。

・MVC~Most Valuable Creator

ゲーム業界においてもっとも活躍し、影響を与え、輝いていたクリエイターや制作スタジオに贈る賞。

・シナリオ部門

優れたシナリオでゲームファンを魅了したゲームに贈る賞。

・グラフィック部門

優れたグラフィックでゲームファンを魅了したゲームに贈る賞。

・ミュージック部門

優れたミュージックでゲームファンを魅了したゲームに贈る賞。

・アクター部門

ゲームキャラクターのモデルになったアクターの中で、とくにゲームファンを魅了し印象に残ったアクターに贈る賞。

・ボイスアクター部門

ゲームキャラクターのボイスアクター(声優/俳優)のなかで、とくにゲームファンを魅了し印象に残ったボイスアクターに贈る賞。

・キャラクター部門

とくにゲームファンを魅了し最も活躍したゲームキャラクターに贈る賞。

・オンライン部門

オンラインゲーム(オンライン要素のあるゲームも含む)や、2020 年以前に発売もしくは配信されアップデート開発が続いているゲームタイトルのなかで、ゲームファンがとくに支持したゲームに贈る賞。

・アクション部門

とくにゲームファンを魅了し印象に残ったアクションゲーム、FPS、TPS に贈る賞。

・アクションアドベンチャー部門

とくにゲームファンを魅了し印象に残ったアクションアドベンチャーゲームに贈る賞。

・アドベンチャー部門

とくにゲームファンを魅了し印象に残ったアドベンチャーゲームに贈る賞。

・RPG 部門

とくにゲームファンを魅了し印象に残った RPG(シミュレーション RPG も含む)に贈る賞。

・インディゲーム部門

とくにゲームファンを魅了し印象に残ったインディゲームに贈る賞。

・ルーキー部門

とくにゲームファンを魅了し印象に残ったルーキーゲームタイトル(シリーズではなく、初めて発売・配信されたオリジナルゲーム)に贈る賞。

・e スポーツゲーム部門

e スポーツ大会を行っており、2020 年以前に発売もしくは配信されアップデート開発が続いているゲームの中で、ゲームファンがとくに支持した作品に贈る賞。

・Best Game in China

中国のゲームユーザーからもっとも支持を受けたゲームに贈る賞。

・Best Creator in China

中国のゲームユーザーからもっとも支持を受けたクリエイターに贈る賞。

◆KADOKAWA Game Linkage について



株式会社 KADOKAWA Game Linkage (代表取締役社長: 豊島 秀介) は、株式会社 KADOKAWA の 100% 子会社です。

『ファミ通』『ゲームの電撃』ブランドをはじめとする情報誌の出版、Web サービス運営、動画配信といったゲームメディア事業を展開しています。そのほかイベント企画や e スポーツマネジメントなど、ゲームにまつわるあらゆる分野で新しい価値の創出に挑戦。ゲームとユーザーの熱量を高め、ゲームの面白さや楽しさをさらに広げてまいります。

公式サイト URL: <https://kadokawagamelinkage.jp>

◆「ファミ通」について



あらゆるゲーム情報を取り扱う、国内最大級のゲーム情報総合メディア。1986 年より刊行しているゲーム総合誌「週刊ファミ通」(毎週木曜日発売)をはじめ、ゲーム・エンタメ情報サイト“ファミ通.com”、スマホゲーム情報サイト“ファミ通 App”、e スポーツ情報サイト“ファミ通 App VS”といった Web サイトを展開。そのほか、子ども向けゲーム情報誌「てれびげーむマガジン」、「ファミ通チャンネル」や「ファミ通 App YouTube チャンネル」などの動画配信チャンネル、攻略本やビジュアルファンブックなど、ファミ通グループではさまざまなメディアやコンテンツを展開しています。

「週刊ファミ通」公式サイト: <https://www.enterbrain.co.jp/weeklyfamitsu/>

「ファミ通.com」公式サイト: <https://www.famitsu.com/>

「ファミ通 App」公式サイト: <https://app.famitsu.com/>

「ファミ通 App VS」公式サイト: <https://appvs.famitsu.com/>

◆「ゲームの電撃」について



電撃が贈るゲームメディアブランド。ゲームを中心にさまざまなエンタメ情報を毎日配信する WEB サイト「電撃オンライン」、ゲーム攻略本や設定資料集などの書籍を発売する「電撃の攻略本」、映像配信と WEB で情報を発信する「電撃 PlayStation」、ゲーマーに贈るニンテンドー専門誌「電撃 Nintendo」(偶数月 21 日発売)など、多岐にわたる媒体で展開しています。

「電撃オンライン」公式サイト: <https://dengekionline.com/>

「電撃の攻略本」公式サイト: <http://kouryaku.dengeki.com/>

「電撃 Nintendo」公式サイト: <https://dengekionline.com/nintendo/>